

水深7.5m岸壁の整備により 効率的なロジスティクスが実現

ね む ろ
file06 **根室港**

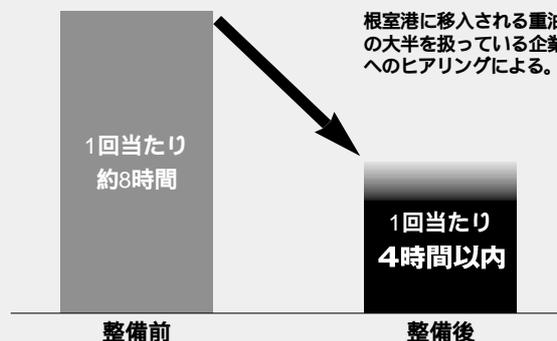
対象施設 花咲地区内貿ターミナル 岸壁(東) (-7.5m)
供用 平成10年

根室港(花咲地区)は、サンマの水揚げ量が平成10年より6年連続で日本一を記録するなど、国内有数の水産基地として重要な役割を果たしている。

サンマ漁を行う漁船の燃料となる重油の多くは、花咲地区から荷揚げされている。こうした、重油をはじめとする石油製品は、以前は老朽化したドルフィンにより荷揚げされていたが、水深7.5mの岸壁が整備されたことによって、係船時間や荷揚げ時間の大幅な短縮が図られるなど、安全かつ効率的な輸送が可能になった。



●東-7.5m岸壁整備前後石油製品の荷揚げ時間の変化



●東-7.5m岸壁整備前後の荷揚げ状況

整備前：ドルフィンより荷揚げ



整備後

